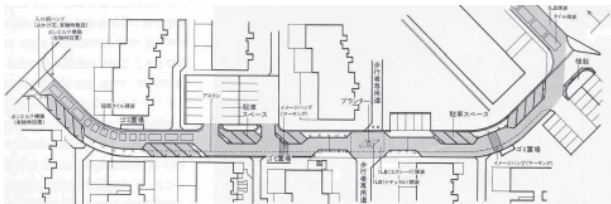


団地内道路の不法駐車問題、子供の飛び出し事故等の安全問題解消、景観向上などの環境改善に向けて中野が居住専門家として関わり、関係機関協議を経て、わが国初の「生活の庭」ボンエルフ型道路改修に取り組んだ事例。

不法駐車撲滅のため管理組合総会で一旦、交通閉鎖を決定したが、ボンエルフ交通実験を提案し、道路交通法告示解除等の手続き完了後、東京大学交通研究室の協力を経て9か月間の実験によってその効果を実証、その間に住民の様々な意見を取り入れ改修を模索、実験終了後、管理組合議決により本格導入に至る。歩行者優先とすべく、車両走行速度抑制のシケイン、ミニロータリー、イメージハンブ等を設け、不法駐車とほぼ同数台数のスペースを道路内に配置した。以後、対象道路内での交通事故は報告されていない。実現に当たっては、関係する建築基準法、消防法等は全てクリア、はしご車走行実験による検証、ビデオによる模型撮影、関係住民説明会等を実施した。2004年NHK番組「難問解決ご近所の底力」で紹介され、大いに反響あり。



ボンエルフサイン (デザイン・青木英明)



ボンエルフ計画平面図 (最終形)



実験前の不法駐車状態



実験前



実験中



工事完了後



ボンエルフ入口部イメージハンブ*



ボンエルフ内で遊ぶ子供たち*



シケインと可動式プランター*

諸元 所在地：浦安市入船 対象道路区間：幅 7.5 m、延長約 150 m、関連区間約 250 m 計約 400 m、事業主体：入船西エステート住宅管理組合、設計：入船西ボンエルフ実験実行委員会 (中野恒明、山本理、ほか管理組合理事若干名で構成) 協力：東京大学都市工学科新谷研究室、久保田尚、青木英明、実験：'87.3～'11 実験協力：東京大学都市工学科新谷研＋日本大学交通土木科三浦研、工事：'87.12 施工：東亜道路工業／写真撮影：* 安川千秋 担当：中野